

生命科学・化学系「自立と体験 2」で田村酒造場を見学しました

6月29日(土)、生命科学・化学系2年生の必修科目「自立と体験 2」で福生市の田村酒造場を見学しました。発酵の仕組みなど、大学での学びが活かされる伝統的な日本酒醸造を見学することは、専門分野と関連する産業の現場を知る重要なアクティブラーニングの機会です。企業の方(明星大学OBも在籍)から直接お話を聞くことで、仕事に向き合う姿勢や将来のキャリアについて考えるよい機会になりました。



2019年度第1回学生との意見交換会を実施しました

6月26日(水)、オープンキャンパスにスタッフとして参加した学生との意見交換会を実施しました。

来場者に本学の魅力を理解していただきたいと、学生自ら心がけている高校生・保護者への接し方や、在学生だからこそ気づく業務への提案や改善点を自由に発言してもらいました。理工学部では学生とともに魅力あるオープンキャンパス実施を目指していきます。

■参加学生(以下5名)

神保 香苗子(物理学系)、冬賀 錦(生命科学・化学系)、柴崎 大雅(機械工学系)、大西 啓(電気電子工学系)、伊藤 美羽(環境システム学専攻)



物理学専攻の大学院生が国際学会で研究発表しました

6月25日(火)~27日(木)、奈良春日野国際フォーラム(奈良県奈良市)で開催された「10th International Conference on Molecular Electronics & BioElectronics」で、物理学専攻 博士前期課程2年生 山内 貴司さん(古川 一暁研究室)が研究発表(ポスター発表)をしました。

この会議は有機分子・高分子・バイオ関連材料のエレクトロニクスおよびフォトニクスに関する基礎から応用に至る最新の研究について口頭発表およびポスター発表を行い、討論を通じて互いの成果を共有する場です。

研究発表のタイトル: Self-propelled ion gel motion in circular channel

発表者: Kanji Yamauchi, Kazuaki Furukawa

発表内容: 流路を用いた自己推進型イオンゲルの運動方向制御に関する研究結果を発表しました。円形流路内でのイオンゲルの自己推進運動を観察し、端のない円形流路内では連続的な円運動を発現することがわかりました。また従来の直線流路内での運動と比較することにより、端の有無による運動の差異を明らかにすることができました。



7/28 夏休み科学体験教室&オープンキャンパス同時開催!



7月28日(日)、オープンキャンパスと夏休み科学体験教室を同時に開催します。

夏休み科学体験教室とは理工学部の1年生が、必修科目「プロジェクト1」の授業を通して学んだ内容を、当日集まった小・中学生の先生となり、授業や実験を行うイベントです。

オープンキャンパスにご来場いただいた方には科学体験教室の様子を見学していただくツアー**理工学部の体験学習見学**を実施しますので、ぜひ足をお運びください。

今年度の夏休み科学体験教室では35テーマ出展します。(実験実習34テーマ、展示1テーマ)

写真は昨年度夏休み科学体験教室の様子です。

